

今年も三月十一日が巡ってまいりました。東日本大震災からもう十三年。きつと「もう」ではなくて、「まだ十三年」と、感じておられる方が、少なからずおられるのではないかと拝察いたします。

立教小学校は陸前高田市立高田東中学校の生徒の皆様と交流をさせていただいています。昨年四月、中学三年生が修学旅行の際に、わざわざ本校にお立ち寄りくださいました。

お会いした中学生、ひと言で表現すると皆様「すがすがしい」。生きていく事、生かされていくことの素晴らしさを身をもって体験されておられるためか、目の輝きにこちらが心を洗われる思いでした。校内見学かたがた、小学生の授業と一緒に参加していただきました。当日、五年生が家庭科の授業で、「みそ

の仕込み」を行っていたので、高田東中の皆様にもご参加いただきました。夏を越え、熟成されたみそに、五年生が手作りカードを添えて、十二月に送らせていただきました。

すると、高田東中の三年生の皆様から、送られたみそで作った手づくりお料理の写真と共に、メッセージの付きのクリスマスカードが送られてきました。その中には三年生担任の熊谷美香先生の手紙も同封されており、今回、熊谷先生にご許可いただき、すてきな内容を掲載させていただきます。

小雪が舞う季節となり、高田東中学校の子供たちも高校入試に向け勉強に励んでいるところ。立教小学校の先生方、児童の皆様さんはお変わりなくお過ごしでしょうか。

四月にお伺いしたときは大変お世話になりました。そして、今回は美味しい味噌をいただき本当にありがとうございます。思いがけない贈り物に、子供たちは目を輝かせておりました。送っていたいただいた写真を見ては「かわいいな」「みんなで味噌玉作りしたよね」「また一緒に歌いたい！」など口々に話し、

「また一緒に歌いたい！」など口々に話し、いただいたカードを見ては「俺より字がうまい」などと感心していました。そんな中で「この味噌をどういただく？」という話になり、「味噌汁」「みそ焼きおにぎり」「（？）存じですか？東北ではポピュラーなのですが」「ちゃんちゃん焼き」と、楽しそうに語り始めました。子どもたちはそれぞれ自分で料理を作り、家族に振舞わせていただきました。

お家の方からも立教小学校の皆さんに「おいしい味噌をありがとうございます。家族みんなで美味しくいただきました。」「美味しい味噌で、豚汁をいただきました。とても温かい気持ちになりました。ありがとうございます。」「我が家で使用している味噌とは違って、大豆の風味が感じられました。ふろふき大根、味噌煮込みうどんも、とても美味しくいただきました。」「ずっと変わらぬ

絆で、立教小学校さんが心を寄せてくださっていることに感謝申し上げます。心の交流をありがとうございます。」「などの声が寄せられ、ぜひ皆さんにお伝えしたいと思いい子供たちの作った料理の写真を載せたクリスマスカードを送らせていただきます。

震災という大きな出来事は、私たちのまちや、そこで暮らす人々の生活を大きく変えてしまいました。ですが、だからこそ人の心の優しさや温かさを実感することができました。「『震災』なんてなかった方がいい。けれどもその事実が変えられないのなら、悲しい思いをした分、子供たちには『幸せ』になってもらいたい。」と私はいつも思っています。そして、いただいた優しさを誰かに届ける人になつて欲しいとも。

本校の子供たちが、これまで立教小学校さんからいただいた優しさと温かな思いやりを、いつか「恩送り」できるように…と願ってやみません。本当にいつも陸前高田を思ってください。ありがとうございます。私も、高田東中学校の子供たちも、立教小学校の皆さんのもとに沢山の幸せが届くことを願っております。どうぞこれからもよろしく願っています。

今年もチャペルのベルを一時四十六分に鳴らします。東北に、思いよ届け！

(立教小学校校長 田代 正行)